

【 調査概況 】

- ①調査期間 令和4年3月10日(木)～4月8日(金)
- ②ヒアリング数 154 企業・団体
- ③主な回答業種 製造 43 社、小売 26 社、卸 22 社、建設 22 社、サービス 17 社、
飲食・宿泊 9 社、農業 7 者
- ④主な影響品目 (複数回答) 海産物 57 件、燃料 49 件、資材 25 件、木材・合板 18 件、自動車 13 件、
金属 10 件、飼料 4 件、肥料 3 件、(物流 19 件)
- ⑤主な輸入停止 ロシア産 カニ、タラコ、木材
(ウニ・エビは入らなくなる懸念)
ロシアが主要輸出国である小麦・原油・LNG・石炭・肥料・希少金属
ヨーロッパ・カナダ産サーモン
- ⑥主な輸出停止 ロシア向け中古車
- ⑦価格高騰品目 石油・LNG 等燃料全般、アスファルト、木材、建設資材・什器、
鉄や石油由来の資材、金属(鉄、銅、ニッケル、アルミニウム、
パラジウム)、尿素水(自動車排気ガス処理用)、
小麦、トウモロコシ、飼料、紅鮭、カニ、ウニ、食用油
- ⑧輸出入取扱 輸入 59 社、輸出 14 社、輸出入 3 社

【 ヒアリング結果 】

■ポイント

①海産物への影響

- ・海産物 サケ 12 件、タラ・タラコ 10 件、ウニ 9 件、カニ 7 件、イクラ 6 件 等
サケ・イクラ、タラ、ウニは製造、カニは卸で取扱い多い。
ロシアからの輸入が中心、ロシアとの漁業交渉の先行き不安。
ロシア政府との交渉ができないと、入荷と価格へ多大な影響。
今の事態が 6 か月以上長期化した場合は、相当な影響が出るとの声も。
サーモンは、ヨーロッパからの空輸(ロシア上空を飛べない)できず入って
きていない。
- ・飲食店 仕入値が高騰したら流石に心が折れる、仕事のにも精神的にもギリギリの状態
- ・ホテル 特にエネルギー価格の安定を図っていただきたい。次に食料品(特に水産物)の安定供給をお願いしたい。

[サケ] ロシア産紅鮭が入手困難(価格高騰)(登別)

今年分程度の原料確保はできているが、長期化した場合はアラスカ産の紅鮭を仕入れることになる。原料確保に同業種が集中し価格高騰が起きる。(釧路)

[タラ] ロシアからタラコを輸入。1月末から3月までが原材料の調達時期だが、入札等が行われず原料が入ってこない。原料不足は今に始まったことではなく、温暖化による品質悪化やコロナによる減船で大変だったところに、今回戦争が起き、取引自体が動いていない。**水産加工業を継続できるかどうかの問題**(小樽)

[ウニ] 北方四島産のウニが入荷していない。(釧路)

ロシア産のものが殆どで、赤潮や今回の規制の影響で、価格の高騰や、ものがなくなり、ほとんど食べられなくなるのではないかと懸念。(釧路)

[カニ] 4月以降になっても制裁措置が続くとロシア産カニ、ウニの入手が困難になる事態を懸念。(帯広)

[その他] ロシア産についてはぼたんエビ、ウニ、タラバガニが輸入できなくなりそう。(北見)

これからロシア産ニシンが入ってこないのではないかと懸念。(余市)

ロシア及びその近海で獲れる魚介類の価格が高騰し、**入手難により生産を停止している商品もある**。(伊達)

②燃料の影響

・**燃料全体** 回答いただいた49件は、**あらゆる業種で影響あり**。

内訳は、製造15件、小売12件、サービス10件、建設6件 他

・**LNG** **価格が昨年秋から上昇基調**、戦争により「天然ガス」の供給停止

元売り価格は3か月ごとに決まる、具体的な**影響が出るのは5月以降**

[製造] 燃料費は本年2~3月の1か月で約1割値上げ、昨年4月時点と比較すると、この1年間で6割上昇、高騰により動力費が大幅に予算オーバー(帯広・栗山)

[小売] 燃料の仕入単価が高騰、**消費者の買い控えにより売上も減少**。(稚内)

原油先物取引の価格変動が大きく、仕入価格が安定せず経営に影響。(札幌)

[卸] 燃料価格の高騰により配送コストも上がり、売上や利益を圧迫。(伊達)

[建設] 原油高騰で今後も値上がりが見込まれる中、経営に影響が出るのが強く予想(室蘭)

アスファルト及び重油の取引価格が30%以上値上がり。(室蘭)

[運輸] ガソリン単価が1円高くなると利益が7万円目減り、50円上がると死活問題(留辺蘂)

これ以上燃料代が高騰したら利益は出ない。**下請けなので価格転嫁も出来ない**。(釧路)

[漁業] 一番の影響は、月間80klを使用する船舶の重油であり、昨今この時期は1l当たり72円程度だったのが、現在は97円。燃料会社からは、3月中に10円以上の値上げの見通しと聞いている。(釧路)

③資材・木材への影響

・**資材** 25件、建築資材(断熱材、窓サッシ、鉄等)、機械・工具類等多数

・**木材** 16件、品質が優秀なロシア材が入っていない、**ウッドショックに追い打ち**との声も寄せられた。

[建設] 鉄や石油由来の資材(断熱材や窓サッシなど)も軒並み値上がりしており、価格転嫁が難しいので経営的に苦しい。(帯広)

公共事業の積算単価への反映が遅れると入札不調となるケースが生じ、**工期が短い本道の建設業は苦境に陥りかねない**。(帯広)

昨年来のウッドショックに加え、ここにきて木材がさらに値上がり。国産材も2割ほど値上げ、型枠に不可欠な合板は3割近く値上がり。1軒当たりの住宅価格は2~3百万円ほど高騰。(帯広)

[不動産] エネルギーコスト、資材コストの上昇で、建築資材、什器等の値上がり等で建築コストが上がり、住宅価格の上昇で住宅建築の冷え込みが予想される。

住宅建築のすそ野が広いため、**冷え込むと全体の景気に影響**。(室蘭)

[飲食] 運賃や餌代上昇や容器等の資材も値上がりしておりコスト増。(北見)

・**その他** 建設材が毎週値上がり。(留辺蘂)

半導体・アルミ不足が自動車部品製造に影響。(札幌)

企業努力にて販売額を抑制することに限界 (室蘭) などの声も寄せられた。

④その他品目への影響

・**自動車** ・3月18日を最後に**中古車の輸出がストップ**。(札幌)

ルーブル安によって、**関税額が1台数百万円に跳ね上がり**採算が取れなくなった他、ロシア国内の**物価が急速に上がり車を買う人がいなくなった**(札幌・室蘭)

・**金属類** ロシアでの生産量が多い**アルミニウム**の地金、**ニッケル**等の値上げで、製品価格がすでに上昇。(旭川)

ロシアとウクライナに大半を依存する**パラジウム**や**ネオンガス**などの希少資源が入手できなくなるとエコカーの生産に支障をきたし、新車の入荷販売に悪影響を与える懸念あり。(帯広)

対ロシアについては、トレーラーヘッドの架装に使用するステンレスの価格が1月に見積もりした価格より**5倍程度高騰**。(釧路)

・**小麦 他** **小麦**や**トウモロコシ**はロシア・ウクライナのシェアが高く、調達コストやエンドユーザーには金銭面の影響は大きい。(釧路)

小麦価格は、ロシアによるウクライナ侵攻前から既に上昇しており、昨年秋から本年4月にかけて段階的に値上げされラーメン用の麺の仕入価格上昇(札幌)ウクライナ侵攻だけが理由ではないが、小麦は昨年9月以降4回・18%値上げ(札幌)

・**肥料・飼料**

カリウムの主要生産国はロシアとベラルーシ。両国と直接取引がなくても世界全体の需給情勢の中で調達条件が厳しくなる可能性はある。(帯広)

肥料は、中国の生産調整により、昨年**リン酸とカリウムが世界的に不足**。(帯広)

飼料の原料が世界規模で逼迫し、品不足・価格高騰、さらに収益が圧迫。(北見)

⑤物流への影響

ロシア領空を通過する欧州ー日本便が欠航(ノルウェー産サーモンに影響・帯広)

ロシアへのフライト便がキャンセルされてスケジュールが大幅にずれている(札幌)

パナマ運河停滞のため、米国産LNGの納入が遅れ気味。(帯広)

北米航路の滞りにより航空輸送に切り替えた部材もあり資材全般が高騰。(帯広)

輸送ルートが変更されることで、仕入資材の価格に影響。(帯広)

今後、ロシアから直接水産物を輸入するのではなく、中国経由で輸入する動きが出てくるかもしれない。(釧路)

⑥その他

サハリン州での防雪対策プロジェクトは完全に消滅。(札幌)

ロシアの国際的信用が回復されるには相当な年数がかかると思われ、ロシアビジネスもしばらくは低調になるとみている。(札幌)

これまで持続してきたロシアビジネスやロシア企業人たちとの人的交流も含め閉ざされることは避けてほしい。(札幌)

【 要望事項 】

〔 全般 〕

- ロシア軍の早期撤退及び早期終息、ウクライナ紛争の早期解決へ働きかけを国に期待。(室蘭)
- ロシアによるウクライナ侵攻一日も早い終結に引き続き取り組まれるとともに、生活や事業等に影響を受ける様々な方々への支援をお願いしたい。(釧路)
- 紛争が早く終わるよう努力して欲しい。(北見)

〔 燃料高騰対策・エネルギー政策 〕

- 燃料高騰に対応するため、補助金に加えてガソリン税の一時的な引き下げ。(室蘭)
- エネルギー価格上昇分を料金に転嫁できる仕組みは一部に限られており、また今回の急激な上昇は、企業努力だけでは補いきれないものとなっており、国としての対策を求めたい。(釧路)
- 石炭価格上昇に対しては、石油価格のような補助金制度を検討(釧路)
- 石油業界に携わる立場の意見として、燃料価格が全国统一ならば今回の激変緩和措置は分かるが今回の激変緩和措置は理解できるが、地域によって価格差がある現状では判りづらく政府のパフォーマンスとしか思えない。(北見)
- 現在、政府ではエネルギーの高騰に歯止めをかけるべく、トリガー条項についての議論を始めたとのことですが、対応が非常に遅いと感じており、エネルギー価格の早期引き下げ対応を関係経済団体と連携して政府に要望していただきたい。(室蘭)
- 燃料価格高騰分を事業者に補助する、または減税措置を行うなど、対策を講じて欲しい。(伊達)
- ガソリンのみならず、ガスや電力などエネルギー全体の価格維持と安定供給を図る政策(帯広)
- エネルギー対策では入手方法の確立等、日本の事情に応じた独自の戦略を構築すべき。(北見)

[食料安全保障]

- 小麦価格が過度に変動しないように、外麦の政府買取価格との連動制の在り方等の見直し等も含め、相場安定に資する対策を要望する。(札幌)
- 食糧安保の観点から自給率向上を強化すべき。(北見)
- 穀物の確保、値上げ補填(飼料、小麦粉)(室蘭)

[企業支援]

- ロシアとの貿易取引減少や、各種原材料・燃料等の価格上昇により影響を受ける企業に対する金融支援や助成など、施策の維持・強化を要望する。(札幌)
- 今後長期化となり状況が悪くなった際には、金融機関の支援。(室蘭)
- 「新型コロナウイルス感染症対応資金」と同様の支援制度の創設、もしくは売上減少のみならず、売上原価や調達コスト、燃料費の上昇により収益性が低下した事業者に対しても積極的な支援が可能となる融資制度の拡充。(釧路)
- 売り上げを維持しても値上げできずに収益が圧迫されている実態に鑑み、(従来のような売り上げ減少幅だけでなく)「仕入れコストの増加幅に応じた支援金や融資枠」の創設。
(帯広)
- コロナ禍のような逆風下で最低賃金を上げて欲しくない。(北見)

[公共事業]

- 公共事業では、資材単価の見直しと発注工事の工期を十分に確保してほしい。(札幌)
- 設計評価へ反映させる又は単品スライドの適用を検討。(室蘭)
- 刻々と値上げが続く各種資材の市況価格を公共事業の積算単価へ機動的に反映させる。
(帯広)

[経済対策]

- 安定した物資の供給と価格の安定化(札幌)
- 安定した輸入品の確保(室蘭)
- 消費税の一時的な減税(室蘭)
- 円相場の安定、金利の上昇を行わない。(室蘭)
- GoToのような消費喚起策を続けて欲しい。(北見)

[物流]

- コロナ禍によって、物流が人々の生活にとって「なくてはならないもの」「止められないもの」という認識がなされた。しかし、賃金・拘束時間・業務内容等の要因により働き手が集まらず、物流業界の人手不足は喫緊課題となっている。この問題を打開するための検討、対策を求めたい。(釧路)

【業種別】

■製造 43社（輸入23社、輸出2社、輸出入1社 他）

[食品製造・水産加工]

- ・ **輸入** 食材価格やガソリンなどの燃料価格の高騰により収益が圧迫。（伊達）
- ・ **輸入** ロシアからタラコを輸入。1月末から3月までが原材料の調達時期だが、入札等が行われず原料が入ってこない。原料不足は今に始まったことではなく、温暖化による品質の悪化やコロナによる減船で大変だったところに、今回戦争が起き、取引自体が動いていない。水産加工業を継続できるかどうかの問題。（小樽）
- ・ **輸入** 今後、カニ、エビ、ウニ、鮭、助宗鱒の在庫確保に大きな影響が出てくる。（釧路）
- ・ **輸入** 北方四島産のウニが入荷していない。代替としてモントリオール産を加工しているが、味、見栄えは劣っているため取引先からの評価が不安。（釧路）
- ・ **輸入** イクラは他国産や国産で一部代替が可能だが、ウニは国産も赤潮の被害があり、且つ冷凍ができないため品不足になると予想。（釧路）
- ・ **輸入** これからロシア産ニシンが入ってこないのではないかと懸念。（余市）
- ・ **輸入** 今後、ロシアから直接水産物を輸入するのではなく、中国経由で輸入する動きが出てくるかもしれない。（余市）
- ・ 来期に向けた調達契約を行う6月以降の石炭や重油の価格動向に危機感。（帯広）
- ・ 主要熱源はLNG、昨年秋から上昇が続いている。
北米航路の滞りにより航空輸送に切り替えた部材もあり資材全般が高騰。（帯広）
- ・ 本年2~3月の1か月で約1割値上げ、昨年4月時点と比較すると、この1年間で燃料費が6割も上昇。（帯広）
- ・ ロシアによるウクライナ侵攻だけが理由ではないが、小麦（昨年9月以降4回、18%の値上げ）、油脂類（マヨネーズ、ラードなど）、プラスチック、農産物、水産物（カニなど）の価格が上昇、これからさらに値上げされる状況になることを危惧。（札幌）
- ・ 小麦やトウモロコシはロシア・ウクライナのシェアが高く、調達コストやエンドユーザーには金銭面の影響は大きい。（釧路）
- ・ 菓子製造に使用する薄力粉の価格が上昇し影響あり。
小麦相場は小麦の政府買取価格に連動制であり、実際の小麦相場よりも上昇していく懸念、価格が安定していくように連動性のあり方を見直す必要性もある。（札幌）
- ・ 水産食料品製造においては、ロシア及びその近海で獲れる魚介類の価格が高騰し、入手難により生産を停止している商品もある。（伊達）

[製造業]

- ・ 油類の高騰（接着剤、運賃、副資材の高騰）（栗山）
- ・ 原材料費の高騰による製造原価の高騰。（栗山）
- ・ 原油価格の高騰により、灯油・LNGが値上げとなり、動力費が大幅に予算オーバー、さらに銅地金相場が3月に入り急騰し、製造原価を押し上げている。（栗山）
- ・ **輸入** 鉄の原料となる鉄鉱石を焼き固めたペレットの10%強をロシアとウクライナから輸入数か月程度は在庫があるため、生産に影響はないが、長期化する場合にはブラジル産を中心に調達先の変更を検討。（室蘭）

- ・ **輸入** ロシアからの輸出停止により木材の流通に影響が出ている。経木容器の卸し先である駅弁製造業者はロシア産カニが入ってこないことにより原価率が上昇し、今後の取引に響く懸念。(留辺蘂)
- ・ **輸入** ロシア産の輸入材が入ってこないのが痛い。ロシア材は耐久性・強度が他と比較にならないほど優秀な木材であり、ロシア材の代わりに集成材で対応する予定だが、強度・耐久性・不燃性で劣ってしまう。(釧路)
- ・ **輸入** ロシア・近隣国より木材を輸入しようと契約中だったが中断。この影響により国内の木材が高騰のため、コスト増による影響が大きくなる。(赤平)
- ・ 外国製の切削工具類がロシア上空を航空機が回避することにより、遠回りになり入手するのが困難となることが予想される。(室蘭)
- ・ **輸出** 鮭の一次処理、魚卵用の機械でロシアとの取引あり、売上構成中ロシアとの取引は15～20%程度。資金決済が凍結されるため、中国、韓国を通じた資金決済のルートを探索(釧路)
- ・ **輸入** 物流混乱の影響により、ヨーロッパからの原料輸入が遅れ、製造に影響が出ている。(旭川)
- ・ **輸出** ヨーロッパへの輸出の日程が物流の混乱の影響で延期。(旭川)
- ・ トラック等の輸送料金の値上がりも予想され、今後の業績への悪影響を予想。(栗山)

■小売 26社(輸入5社、輸出5社 他)

[自動車]

- ・ **輸出** ルーブル安でロシア国内の物価が急速に上がり、車を買う人がいなくなった、注文が全くない。(小樽)
- ・ **輸出** 3月18日を最後に中古車の輸出がストップする見込み。中古車がルーブル安によって関税額が1台数百万円に跳ね上がり、採算が取れなくなったため国内向けに切り替えて売却。(小樽)
- ・ ロシア向け輸出が止まったからといって管内の中古車市場はダブついてはいない。(帯広)
- ・ 昨年からの新車の納車が平均で半年ほど遅れているが、今般の事態で世界的な物流混乱に拍車がかかることを懸念。(帯広)
- ・ ロシアとウクライナに大半を依存するパラジウムやネオンガスなどの希少資源が入手できなくなるとエコカーの生産に支障をきたし、新車の入荷販売に悪影響を与える懸念。(帯広)
- ・ 半導体不足・アルミ不足で自動車部品の供給が追いついておらず、業界は混乱。(札幌)

[燃料]

- ・ **輸入** ここ1カ月で日々値上がりの状況が続いている。(留辺蘂)
- ・ **輸入** LNG元売り価格は3か月ごとに決まるので今般事件の具体的な影響が出るのは5月以降。(帯広)
- ・ 昨今の急激な価格上昇による買い控えや、コロナによる需要低下の影響が大きい。(札幌)
- ・ 原油先物取引の価格変動が大きく、仕入価格が安定しないことによる経営への影響も出てきている。(札幌)
- ・ プロパンガス・灯油・重油の仕入価格が異例のスピードと値幅で変動し、冬の需要期に利益を確保することが出来なかった。(伊達)

■卸 22社（輸入12社、輸出6社、輸出入2社 他）

[海産物]

- ・ **輸入** 4月以降になっても制裁措置が続くとロシア産カニ、ウニ、ぼたんエビの入手が困難になる。（帯広・北見）
- ・ **輸入** ロシアとの「北洋サケマス漁の交渉」ができないと、入荷と価格へ多大な影響（帯広）
- ・ **輸入** 北方領土から入ってくるものが来なくなる。（北見）
- ・ **輸入** ロシア領空を通過する欧州－日本便が欠航し、3月になってノルウェー産サーモンの入荷が途絶えた。（帯広）
- ・ **輸入** 輸送面でも様々な影響が予想され、影響は大きい。（釧路）

[木材・資材他]

- ・ **輸入** ロシア産針葉樹等の輸入停滞により仕入価格の高騰や欠品による入手難。（伊達）
- ・ **輸入** ロシアでの生産量が多いアルミニウムの地金、ニッケル等の値上げで、製品価格がすでに上がっている。（旭川）
- ・ **輸出** ルーブルの急落により、輸出製品の価格が見合わず取引が困難、金融制裁による回収の可能性が低くなることが懸念。（札幌）
- ・ **輸出** ロシアへのフライト便がキャンセルされてスケジュールが大幅にずれた。（札幌）
- ・ **輸出** オンラインショップがロシアでのカード決済ができなくなったため停止。（小樽）
- ・ **輸出** 経済制裁となるとこれまで持続してきた**ロシアビジネス**や**ロシア企業人たちとの人的交流**も含め閉ざされることは避けてほしい。（札幌）
- ・ **輸出** ロシアビジネスもしばらくは低調になる。（札幌）
- ・ **輸出入** ロシアへの玉ねぎ等の輸出やロシアからのバレルサウナ輸入が難しくなる（札幌）
- ・ 商品の配送、輸送に伴う燃料費、運賃の高騰、包材費の値上がりが続き、販売商品の値上げ率に影響している。（札幌）
- ・ 飼料の原料が世界規模で逼迫し、品不足・価格高騰。（北見）

■建設 22社（輸入11社 他）

- ・ **輸入** 建設材が毎週値上がり、希望通りの物が入ってこないこともある。（留辺蘂）
- ・ **輸入** 原木のみならず中国経由で入っていた木材がストップし、国産材も2割ほど値上げ、型枠に不可欠な合板は3割近く値上がり。住宅1軒当たりの住宅価格は2～3百万円ほど高騰、今後の着工・販売への影響を懸念。（帯広）
- ・ **輸入** 企業努力にて販売額を抑制することに限界。（室蘭）
- ・ **輸入** 住宅着工数がコロナ前レベルに戻っていない中、鉄・石油由来の資材（断熱材・窓サッシ等）も軒並み値上がりしており、価格転嫁が難しいので経営的に苦しい。（帯広）
- ・ **輸入** 公共事業の積算単価への反映が遅れると入札不調となるケースが生じ、工期が短い本道の建設業は苦境に陥りかねない。（帯広）
- ・ 資材の高騰、燃料の高騰に収支が合わない。（釧路）
- ・ ロシアからの木材の供給がストップすることで、木材価格の上昇や入手難（ウッドショック）に拍車、工事の停滞・受注の減少で、売上や利益が圧迫。（伊達）
- ・ 鉄製品 4月以降から原材料が106円/1kg→130円/1kgまで値上がりする予定。（釧路）

- ・原油価格の高騰によりアスファルト及び重油の取引価格が30%以上値上がり予定。(室蘭)
- ・輸送ルートが変更されることで、仕入資材の価格に影響が出るのではないかと。(室蘭)
- ・資源の高騰により、建築資材価格が上がって企業の設備投資が鈍り、工事量が減る恐れ、売上高に影響。(室蘭)

■運輸関係 17社

- ・船舶代理店 現在、船自体は動いているが、ロシア国内で送金できない、外貨の確保ができない、ルーブルが暴落しているといった状況では今後の見通しは全く立たない。(小樽)
- ・ガソリン単価が1円高くなると利益が7万円目減りする、50円上がると死活問題(留辺蘂)
- ・ロシアから石炭の輸入ができない場合は業務の縮小、最悪は廃業にも成り得る問題(歌志内)
- ・対ロシアについては、トレーラーヘッドの架装に使用するステンレスの価格が1月に見積もりした価格より5倍程度高騰。(釧路)
- ・これ以上燃料代が高騰したら利益は出ない、下請けなので価格転嫁も出来ない。(釧路)
- ・ロシアが主要輸出国となっている小麦・原油・LNG・石炭・肥料・希少金属等の流通が遮断され、世界的な争奪戦、それに伴う価格高騰が懸念。(釧路)

■飲食・宿泊 9社(輸入2社 他)

- ・ **輸入** タラバとズワイはほぼ全量をロシア産、例年4、5月から出回るロシア産カニの入荷がストップすると支障をきたす恐れ。(帯広)
- ・ **輸入** 影響が本格化するのはいずれから、イクラ、カレイ、エビの値上がりが予想され、全体で均すと食材の原価は2~3割ぐらい上昇か。(北見)
- ・ロシア上空を飛行機が飛ばなくなった影響か、ノルウェーやカナダ産のサーモンが卸売市場からなくなり、全く手に入らなくなった。(小樽)
- ・小麦価格は、ロシアによるウクライナ侵攻前から既に上昇、ラーメン用の麺の仕入価格上昇令和4年度はウクライナ産の小麦が供給されず、世界的に需給逼迫、さらなる価格上昇へ
(札幌)
- ・小麦粉に加えそば粉の値上げも懸念、食用油やエビの高騰などもあり20~100円値上げ予定
(札幌)

■農業関連 7社(輸入4社 他)

- ・ **輸入** 肥料に関しては中国の生産調整により、昨年からのリン酸とカリウムが世界的に不足今般事件を含む世界的な供給事情の中で今後の仕入価格の上昇は避けられない。秋まき小麦向けなど今後の肥料の調達と価格は厳しくなる。(帯広)
- ・ **輸入** 今後輸入規制がかかると、飼料の高騰が避けられない。(釧路)
- ・ **輸入** 搾乳制限が続いているのに飼料が高騰したら、さらに収益が圧迫(釧路)
- ・ **輸入** 仕事上トラックは毎日使用しており、燃料高騰は死活問題(旭川)
- ・もともと肥料は世界的な物流混乱の影響などで昨年からの入手が困難になっていた。カリウムの主要生産国はロシアとベラルーシ。両国と直接取引がなくても世界全体の需給情勢の中で調達条件が厳しくなる可能性はある。(帯広)

- ・ウクライナ、ロシアからの穀物輸出中止に伴い、世界的な穀物（トウモロコシ、小麦）不足となり、穀物の値上げ・不足が今後発生するため、生産に影響が出る事態を心配。（室蘭）

■その他

・漁業

現在のプーチン政権発足後軍事化が進んだため、ここ1~2年でロシア海域への出漁を止めた。主力のスケトウダラのすり身原料については、韓国経由で商社が調達しているが、ロシア産の流通シェアは少なく影響は少ない模様

一番の影響は、月間80klを使用する船舶の重油であり、昨今この時期は1l当たり72円程度だったのが、現在は97円。燃料会社からは、3月中に10円以上の値上げの見通し（釧路）

・ **輸入** 鉱業・エネルギー業

年間11万トンの外国炭は全てロシアから輸入しており、年4~5回に分け船便で納品されるが、今後予定通りとなるのか心配

近年の石炭価格の高騰に苦慮している中、さらに契約価格が高額になることが想定される。

また、船便、搬送トラックに伴う輸送コストへの影響もあることから死活問題に発展（歌志内）

・サービス業全般

円安に伴う輸入品の高騰、燃料価格の高騰により経費は増加しているが、上手く価格に転嫁できず利益を圧迫。（伊達）

・不動産業

エネルギーコスト、資材コストの上昇で、建築資材、什器等の値上がり等で建築コストが上がり、住宅価格の上昇で住宅建築の冷え込みが予想される。住宅建築のすそ野が広いいため、冷え込むと全体の景気に影響が出てくる。（室蘭）